



遠大勵志

県高総文祭放送部門

朗読部門最優秀賞

「豊泉 花」(2年2組)

岩手日報(6月5日)記事より

第41回県高校総合文化祭放送部門大会兼第65回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会は4日、盛岡市中ノ橋通のプラザおでつで2日間の日程で始まった。初日はアナウンスと朗読の2部門を行い、アナウンス部門で武蔵未侑さん(盛岡一3年)、朗読部門で豊泉花さん(黒沢尻北2年)が最優秀賞に輝いた。両部門の上位計12名は全国大会(7月、東京都)に出場する。自作の原稿を読むアナウンス部門には、17校58人が参加。武蔵さんは、災害医療の向上のために医師を志す男子同級生を紹介し「全国でも思いが伝わるよう、言葉の重みを意識して発表したい」と意気込んだ。指定作品を読む朗読部門には、22校82人が出場した。小川糸の小説「リボン」を発表した豊泉さんは「聞く人の心に残るように読み、全国も楽しみたい」と次を見据えた。5日は番組4部門を行う。2人を除く全国大会は次の通り。【本校の生徒のみ】



▼アナウンス部門=(優良賞)伊藤優那(2年4組)

▼朗読部門=(優良賞)小原奏馬(3年1組)

岩手日報(6月6日)記事より

第41回県高校総合文化祭放送部門大会兼第65回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会最終日は5日、盛岡市中ノ橋通のプラザおでつでラジオやテレビの番組を制作する4部門を行い。各部門の上位延べ12校が全国大会(7月:東京都)出場を決めた。

▼創作テレビドラマ部門=(優良賞)黒沢尻北

全国大会でのさらなる活躍、期待しています!

チャレンジデー参加



チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントです。

何らかの運動やスポーツをした住民数を都市の人口に対しての「参加率」で競い合い、対戦相手に敗れた場合には、相手自治体の旗を庁舎のメインホールに一週間掲揚し、相手の健闘を称えるというルールがあるそうです。今回で北上市(人口92851人)は7回目の参加でしたが、今年の対戦相手は長崎県の大村市(人口96971人)。

5月30日(水)は8:10から、菊地先生の指導の下、全校で運動を楽しみ、チャレンジデーに参加しました。生徒のみなさん、協力有り難う!!

北上市のHPによると、結果は北上市が参加率は66.8%、大村市の参加率は67.5%で惜しくも敗れたということでした。残念でしたが、北上市の参加率は過去最高だということです。



最後は、全員で右手をあげながら、「チャレンジデー」と、大きな声を出して、チャレンジデー参加を終えました。

お疲れ様でした!(*^▽^*)